

<平成26年度第3回横浜市立病院等安全管理者会議>

第1回、第2回 グループワーク報告

平成27年2月20日(金)
医療法人五星会 菊名記念病院
医療安全管理室室長
新村 美佐香

今年度のワークショップの企画：

- ◆今年度のワークショップは、医療安全管理者が日々悩んでいることとしていつも挙げられている「インシデントレポートを収集後どのように活用していくか」というところを踏まえ、2回に分けて分析の基本的考え方と2つの事例分析手法について、講義とグループワークを通して学んだ。

ワークショップ内容：

第1回 平成26年7月7日

「インシデントレポートを活用しよう（入門編）」

◆参加者

35病院 69名

◆ワークショップ内容

第1部

「事例分析の基本的考え方と

インタビューの方法について」

第2部

「KYT（危険予知トレーニング）」



第2回 平成26年10月1日

「インシデントレポートを活用するために」
～RCAを体験してみよう～

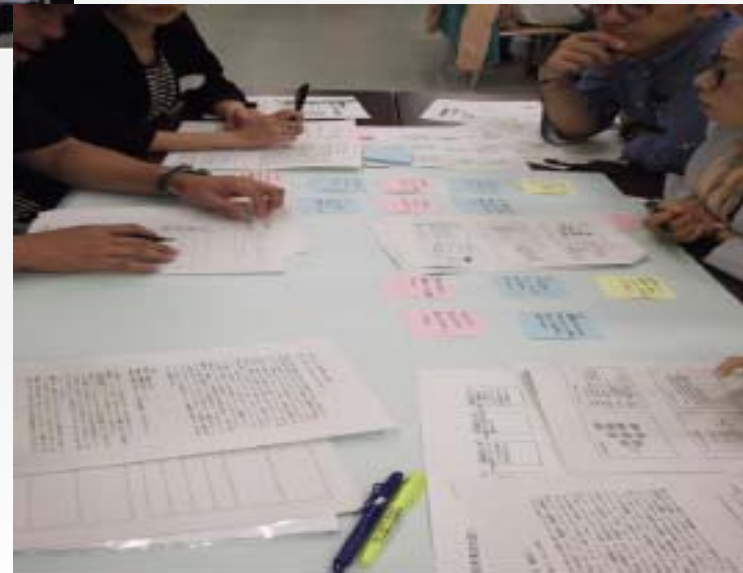
◆参加者

37病院 68名

◆ワークショップ内容

RCA－VA版－について（講義）

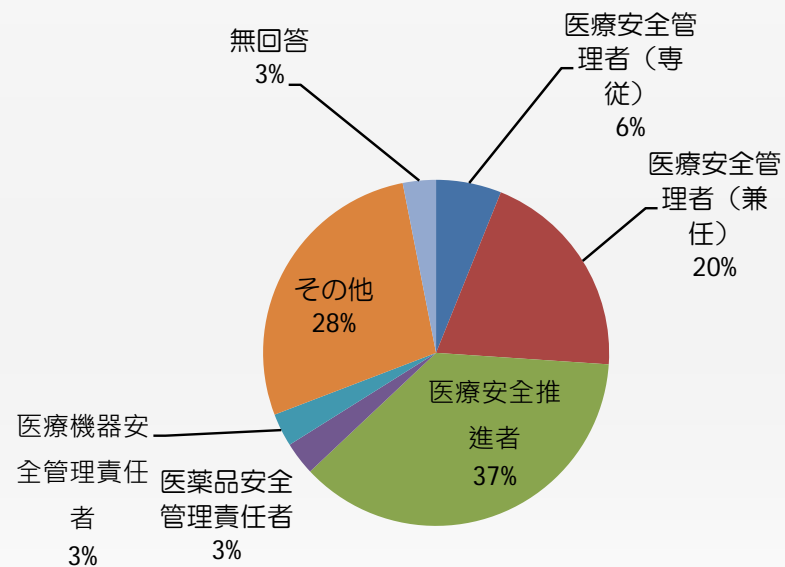
RCA演習（グループワーク）



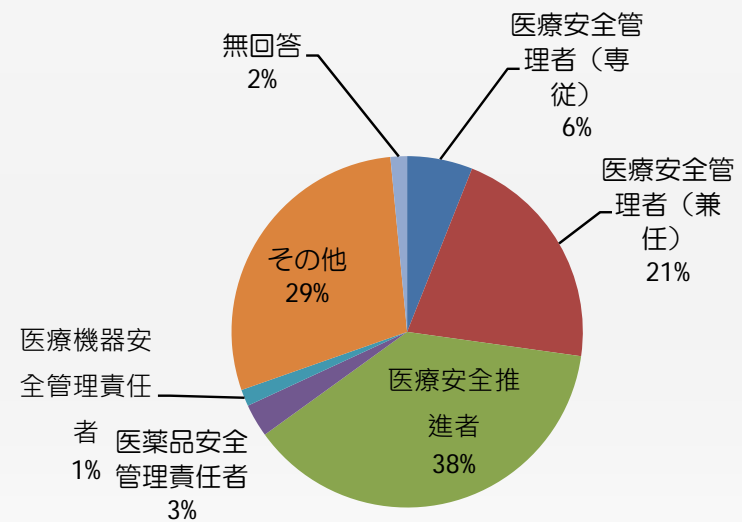
アンケート結果：

問2：病院での役割について

第1回 病院での役割



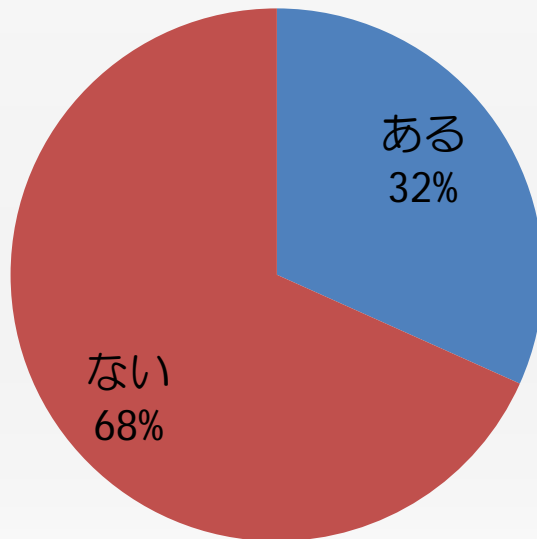
第2回 病院での役割



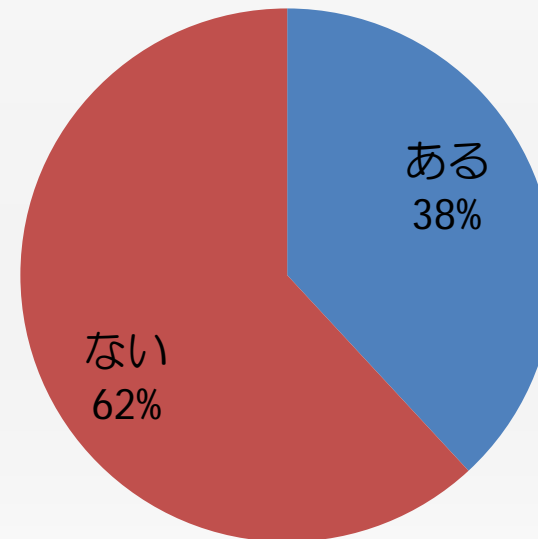


問3：横浜市立病院安全管理者会議の参加の有無について

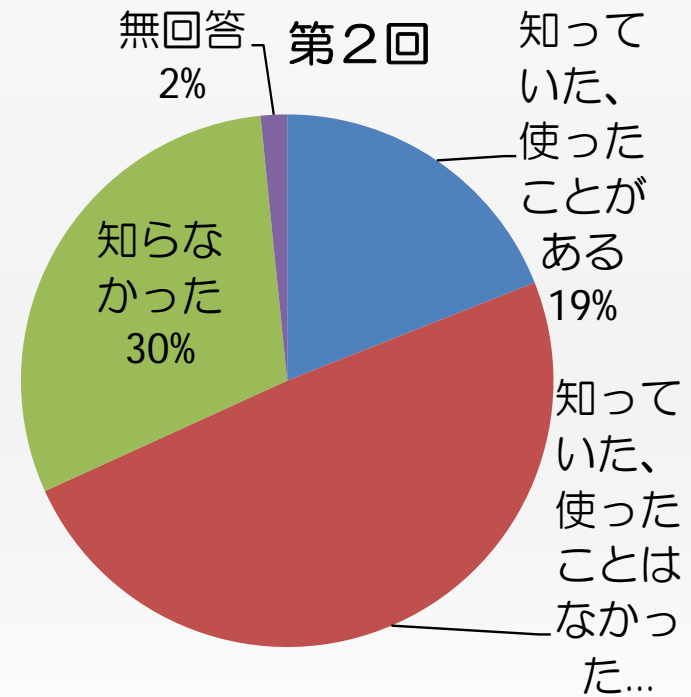
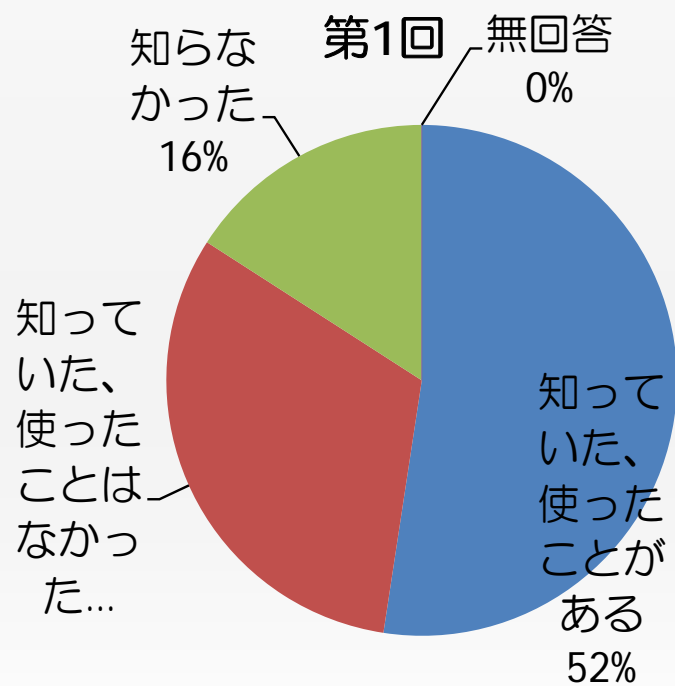
第1回



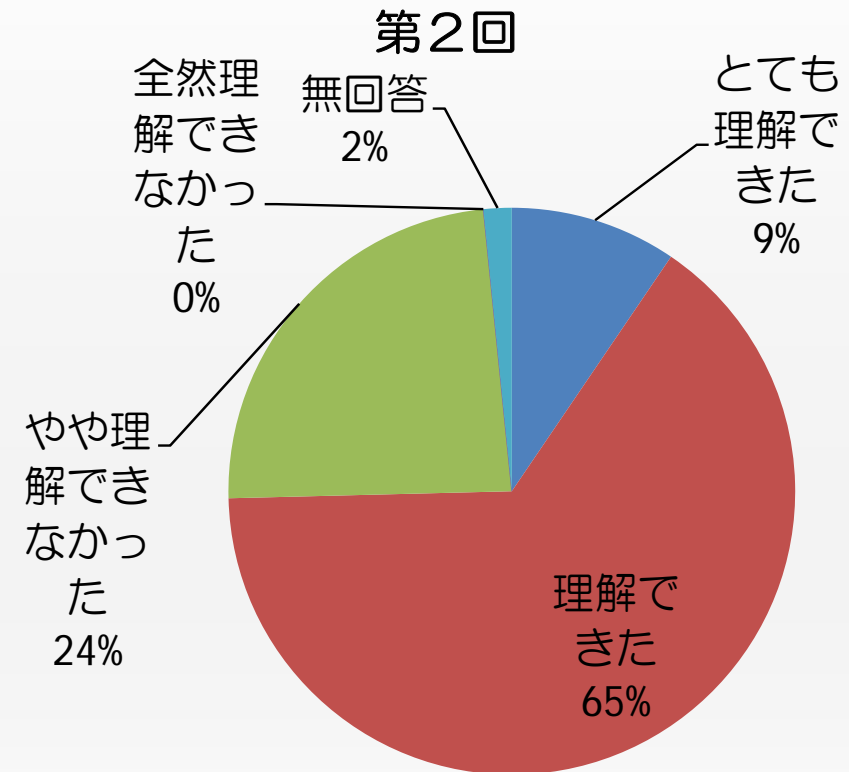
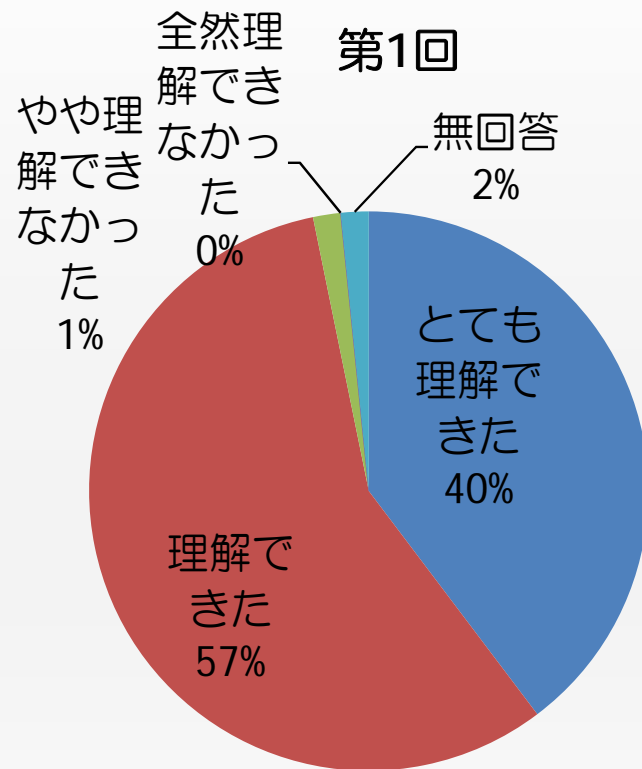
第2回



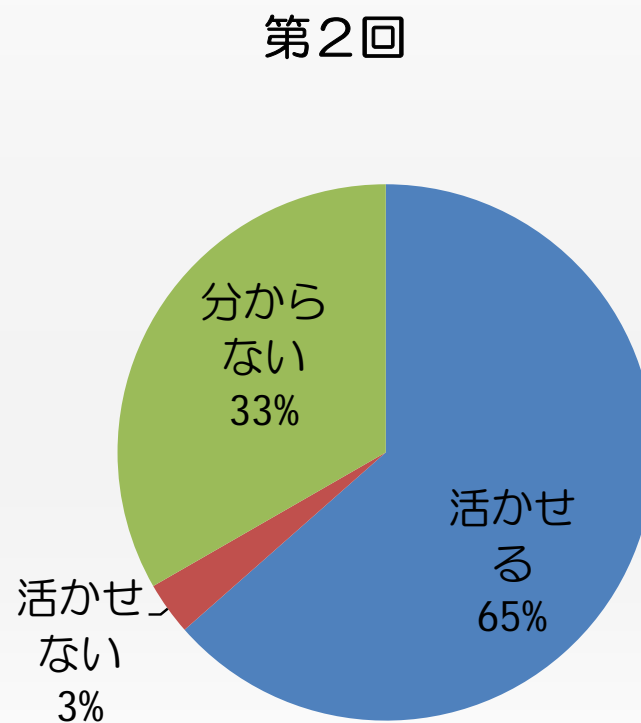
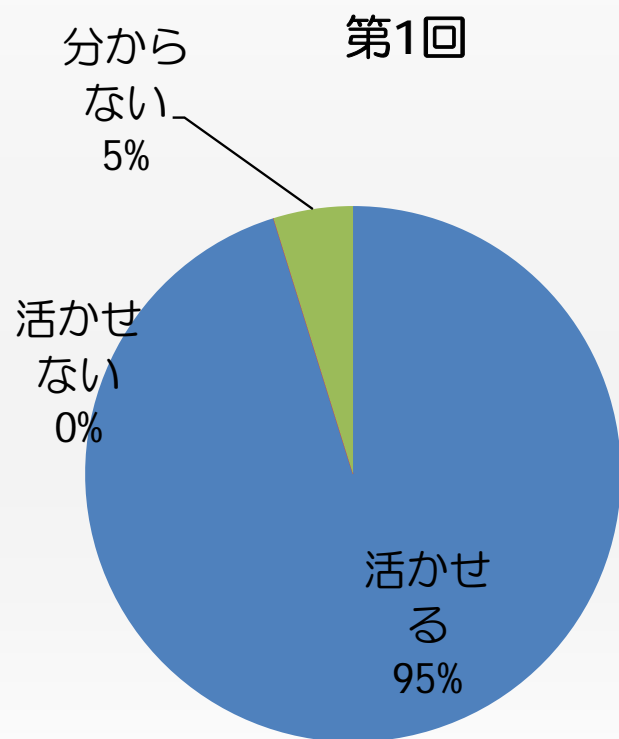
問4：ワークショップの前にKYT・RCAを知っていたかについて



問5：講義内容が理解できたかについて



問7：今後の業務に活かせるかについて



今年度のワークショップを通して：

- ◆分析手法に関しては、実際にグループワークで体験したことで、参加者の理解度は高く、ワークショップ参加の満足度も高いものになったのではないかと考える。
- ◆しかしながら、今回のワークショップが今後活かせるかということについては、KYTの95%に比べRCAは63%と低いことから、やはりRCAの演習は一度ではなかなか理解しにくく、自部署で活用するところまでは難しいと考えられる。今後何らかの形で、フォローアップしていけるように考えていく必要があると感じた。